

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5年 6月 30日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 奈良県大和郡山市横田町595番地の1	
氏 名 株式会社ハウワ 代表取締役 北森 康史	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0743-57-8000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ハウワ
事業場の所在地	奈良県大和郡山市横田町595番地の1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	職別工事業 (及び道路貨物運送業)
②事業の規模	元請け完成工事高 8,500万円
③従業員数	76名 (うち建設業に携わる者は3名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	(とび・土工工事業) → べた基礎工事・布基礎工事など 汚泥・・・中間処理業者に委託し、混練固化を行う。 がれき類・・・再生処理業者に委託し、一部を再生砕石として再資源化。 再生不可能なものは中間処理業者に委託し、選別破碎、圧縮を行う。 (解体工事) → 工作物の一部及び全部の解体工事 がれき類・・・再生処理業者に委託し、一部を再生砕石として再資源化。 再生不可能なものは中間処理業者に委託し、選別破碎、圧縮を行う。 建設混合物・・・最終処分業者に委託し、埋立て処分。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
本社事業部			
↓			
建設部門 (産業廃棄物管理担当部長)			
↓			
工事現場管理主任 (産業廃棄物管理担当主任)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和 4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1,784 t	1,469 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	排出量	403 t	2 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	排出量	30 t	106 t
	(これまでに実施した取組)		
がれき類・廃プラスチックのリサイクル促進、梱包用段ボールの削減。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1,400 t	1,100 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	排出量	315 t	1 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	排出量	20 t	95 t
	(今後実施する予定の取組)		
全ての排出産業廃棄物のリサイクルの推進			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	原則、各品目ごとにそれぞれ分別し、中間又は最終処理業者へ直送している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	原則、各品目ごとにそれぞれ分別し、中間又は最終処理業者へ直送する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	産業廃棄物の量自ら再生 利用を行った	— t	— t
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	産業廃棄物の量自ら再生 利用を行った	— t	— t
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	産業廃棄物の量自ら再生 利用を行った	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
建設発生木材を再利用した再生木質ボードを、一般土木構造物のコンクリート用型枠に一部利用している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	産業廃棄物の量自ら再生 利用を行う	25 t	18 t
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	産業廃棄物の量自ら再生 利用を行う	6 t	1.2 t
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	3.6 t	2.6 t
	(今後実施する予定の取組)		
積み替え・保管施設の許可取得を検討している。			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量 全処理委託量	1,784 t	1,469 t
	優良認定処理業者への処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量	1,784 t	1,469 t
	再生利用業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	熱回収を行う業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	全処理委託量 全処理委託量	403 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量	403 t	2 t
	再生利用業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	熱回収を行う業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	0 t	0 t

産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	産 廃プラスチック類	混合物
全処理委託量 全処理委託量	30 t	<del>200</del> 106 t
優良認定処理業者への 処理委託量優良認定処理 業者への 処理委託量	30 t	<del>200</del> 106 t
再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>可能な限りリサイクル又は再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図った。</p>		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量 全処理委託量	1,400 t	1,100 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1,300 t	1,020 t
	再生利用者への 処理委託量	100 t	80 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	全処理委託量 全処理委託量	315 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	300 t	0.7 t
	再生利用者への 処理委託量	15 t	0.3 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	全処理委託量 全処理委託量	20 t	95 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	17.8 t	85 t
	再生利用者への 処理委託量	2.2 t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>優良認定処理業者を選定する。 また、排気ガス抑制のため、車両での移動距離が出来る限り短くなるような処理業者を選ぶ。</p>			
※事務処理欄			